

ありのままに今を輝く！

令和8年度保護者会



南中キャラクター「南太」

南中生や先生に化けるため
頭の上はハナミズキなので、南中の人にしか化けられない。
お腹が太鼓になり、太鼓に化けて打たれに行っている。

いきなりですが..

中学入学時にスマホを持たせる
家庭も多いと思います。

中学入学時に初めてスマホをもたせることで生じるデメリットは？



中学への入学は、行動範囲や交友関係が広がる大きな節目ですね。このタイミングでスマホを持たせることは便利である反面、いくつか懸念されるデメリット（リスク）もあります。

主なデメリットを4つの視点で整理しました。

1. 生活習慣・健康への影響

スマホは依存性が高く、自己管理がまだ難しい中学生にとっては生活リズムを崩す要因になりやすいです。

•睡眠不足

夜遅くまで動画視聴やSNS、ゲームに没頭し、授業中の居眠りや体調不良につながる。

•視力低下・運動不足

長時間の使用により視力が低下したり、外で体を動かす時間が減ったりする。

•脳への負担

常に新しい情報に触れ続けることで「スマホ脳」と呼ばれる集中力低下の状態を招く恐れがある。

2. 学習面への影響

勉強中にスマホが近くにあるだけで、集中力は大幅に削がれます。。

• 学習時間の減少

宿題やテスト勉強中も通知が気になり、結果として学習の質と量が低下する。

• 「わかったつもり」になる

わからないことをすぐに検索して答えを見つけてしまうため、深く思考する習慣がつきにくい。

3. 人間関係・SNSのトラブル

中学生にとって最も大きなリスクが「対人関係」です。

・SNSトラブル

LINEの返信が遅いことによる「既読スルー」問題や、グループ内での仲間外れ、誹謗中傷など。

・ネットいじめ

24時間つながっているため、学校以外の場所でもいじめが継続・深刻化しやすい。

・不適切な投稿

悪ふざけや個人情報への漏洩など、一度ネット上に流した情報は完全に消すことができない(デジタルタトゥー)。

4. 犯罪・金銭トラブル

知識不足から、意図せず大きな問題に巻き込まれる可能性があります

• 高額課金

ソーシャルゲームや投げ銭などで、親の知らないうちに高額な請求が発生する。

• ネット犯罪

SNSで知り合った見知らぬ大人との接触や、詐欺サイト、ウイルス感染などの被害。

ご家庭での管理と
徹底した指導(約束事)
をお願いします。

教職員紹介

話かえます

部活動について

教職員のボランティアで成り立っています

(教員の勤務時間)

・午前8時10分から午後4時40分

(休憩時間)

・午後3時40分から4時25分

部活動について

最終下校時間の変更

- ・3月から10月 午後6時00分
- ・11月から2月 午後5時30分

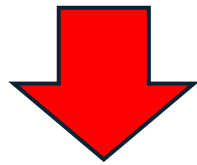
(理由)

- ・教員の働き方
- ・学区域外の生徒が約半数

部活動について

・バドミントン部

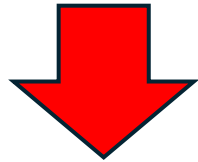
顧問の交代に伴う活動の変更



土曜日・日曜日の練習試合の精選

部活動地域展開について

- 10月から土日休日は地域指導者が担当



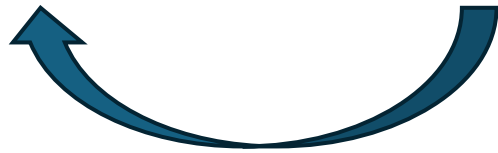
- バドミントン部
- ソフトテニス部
- メディアクリエイティイ部

《R10年度から》

- 休日完全地域移行
- 教員の兼業・兼職
- 費用の受益者負担

宿泊行事の無償化について

教育委員会 → 学校 → 旅行業者



《今年度》

保護者(積立金・一時払い) → 旅行業者

教育委員会 → 学校



話かえます

人のできることは
できなくて
人にできないことは
できるよね

99だめでも
1つ長所が
あればいい

4月6日
毎日新聞

令和8年度 学校教育理念(ビジョン)

激しく変化する社会において、他者と協働しながらより良い未来を創り出す力を育む

多様性の尊重 主体性の伸長 創造性の涵養

学校教育目標

- 心の豊かな人
- 創造力に富む人
- 自らを鍛える人

多様性の尊重(共生)

※豊かな人間性と、他者と共に
平和な社会を築く心の育成

- ・人権教育/包括的性教育
/平和学習
- ・授業UD化
(小中連携による授業改善
→構造化・可視化・焦点化)
- ・不登校支援(Eルーム・SC・SSW)
- ・C組との交流・共同学習

主体性の伸長(自律と自立)

※自ら考え、伝え、挑戦し続け
る資質・能力の育成

- ・よむYOMU/新聞活用
(読解・表現・対話)
- ・キャリア教育
(職場体験・講話・キャリアパス)
- ・生徒会自治の活性化
- ・食育・消費者教育・体力向上

創造性の涵養(創造)

※テクノロジーを使いこなし、
新たな価値を創造する力の育成

- ・生成AI活用(探究・創作)
(外部人材との連携)
- ・AIリテラシー(誤情報・著作権)
- ・STEAM/教科横断コラボ授業
- ・SDGs探究(図書館との連携)

特色ある教育活動

- 南中探究(PBL)/文化祭を折り返しに課題解決
- プレゼンテーション力の向上(他学年交流)
- 和太鼓・伝統文化学習
- 地域連携(PTA・地域学校協働本部)
- 道徳:対話的道徳/縦割り活動
- 特別活動:生徒会自治/行事運営/地域交流
- 新聞活用による情報リテラシー育成
- 朝学習・放課後学習教室・学習コンテスト
- 食育(和食週間・弁当の日・家庭料理検定)
- 体力向上(ウォームアップタイム・運動会)
- 総合:SDGs・ESD/学年別探究テーマ
- 奉仕活動による自己有用感の育成

授業改革の視点

- ・主体的・対話的で深い学び
課題設定 → 自力解決 → 協働 → 振り返り
- ・ICT活用(1人1台端末・電子黒板)
- ・メディアリテラシー・AI活用
- ・見返したいノートづくり

学校運営・働き方改革

- ・AI・ICTによる業務改善(会議・採点・文書作成)
- ・学校評価アンケートによる改善
- ・外部研修の活用
- ・繁忙期分散・準備出勤の充実



【めざす生徒像】

- 心豊かに他者と共生できる生徒
- 主体的に学び挑戦し続ける生徒
- 創造的に未来を切り拓く生徒

まだまだ話したいこと
あるのですが
今日はこのくらいで失礼します

今後ともよろしくお願いいたします